業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

測量業務	業務名：	○○測量

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　）								業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 □　□　９．支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ■　□　１０．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１１．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１２．業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１３．貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 □　□　１４．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１５．第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後１０日以内に返却されている。 □　□　１６．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１７．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１８．設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 □　□　１９．休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 □　□　２０．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~20のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ■　□　２．業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。 □　□　３．技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ■　□　４．測量精度向上のための社内基準等を設けている。 □　□　５．業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ■　□　６．資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 □　□　７．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 □　□　８．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 □　□　９．管理技術者等が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☑　□　１０．実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　１１．測量の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 □　□　１２．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ■　□　１３．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☑　□　１４．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 □　□　１５．その他（　　）							品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~15のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-

実施状況の評価　創意工夫

●評価対象項目

対象	該当	
■	□	1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査･解析等の手法･技術に関する提案がなされている。
■	□	2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。
■	□	3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。
■	□	4．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。
■	□	5．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述（　　）

●評価点

c
0

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 □　□　2．業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ■　□　3．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　4．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　5．打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　6．測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　7．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 □　□　8．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　9．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　１０．車輌の運転･駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 □　□　１１．その他（　　）							説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~11のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 □　☑　2．現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 ☑　□　3．写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ■　□　4．調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ■　□　5．調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 □　□　6．多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。 ■　□　7．業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 □　□　8．その他（　　）								成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~8のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

測量業務	業務名：	○○測量									
考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>20</td><td>15</td><td>10</td><td>7.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>実施状況の評価</td><td>業務特性</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。
□　2．都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。
□　3．厳しい自然、条件への対応が評価できる。
□　4．業務の特殊性への対応が評価できる。
□　5．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。
□　6．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。
□　7．その他（　　）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="9">◎評定は１~7のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="10">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。
□　5．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="10">◎評定は１~5のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

地質・土質調査業務	業務名：	○○地質調査

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　）								業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ■　□　９．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１０．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１１．業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１２．貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 □　□　１３．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１４．第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後１０日以内に返却されている。 □　□　１５．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１６．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１７．設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 □　□　１８．休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 □　□　１９．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~20のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ■　□　２．業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。 □　□　３．技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 □　□　４．業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ■　□　５．資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 □　□　６．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 □　□　７．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 □　□　８．管理技術者等が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 □　□　９．実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　１０．調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 □　□　１１．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 □　□　１２．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 □　□　１３．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 □　□　１４．その他（　　）							品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~15のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-

実施状況の評価　創意工夫

●評価対象項目

対象	該当	
■	□	1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査･解析等の手法･技術に関する提案がなされている。
■	□	2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。
■	□	3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。
■	□	4．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。
■	□	5．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述（　　）

●評価点

c
0

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 □　□　２．業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ■　□　３．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　４．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　５．打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　６．地質・土質調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　７．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 □　□　８．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　９．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　１０．車輌の運転･駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 □　□　１１．その他（　　）						説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~11のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 □　□　2．現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 □　□　3．写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ■　□　4．調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ■　□　5．調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 □　□　6．多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。 ■　□　7．業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 □　□　8．その他（　　）								成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~8のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

地質・土質調査業務	業務名：	○○地質調査									
考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>20</td><td>15</td><td>10</td><td>7.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>実施状況の評価</td><td>業務特性</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。
□　2．都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。
□　3．厳しい自然、条件への対応が評価できる。
□　4．業務の特殊性への対応が評価できる。
□　5．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。
□　6．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。
□　7．その他（　　）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="9">◎評定は１~7のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="10">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。
□　5．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="10">◎評定は１~5のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

用地関係業務	業務名：	○○

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　）								業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ■　□　９．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１０．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１１．作業計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１２．貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 □　□　１３．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１４．第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、業務完了後速やかに返却されている。 □　□　１５．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１６．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１７．設計図書に基づき、適切な時期に用地調査等業務日報が提出されている。 □　□　１８．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~18のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務の実施にあたり、仕様書等に定める損失補償基準について、十分に理解した上で適用している。 ■　□　２．業務の実施にあたり、仕様書等に定める損失補償基準及び特記仕様書に基づき実施している。 □　□　３．損失補償基準等に規定がない特殊な案件について、具体的な対応策が記述されている。 ■　□　４．測量、調査等の精度向上のための社内基準等を設けている。 □　□　５．業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ■　□　６．資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 □　□　７．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 □　□　８．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 □　□　９．管理技術者等が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ■　□　１０．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 □　□　１１．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 □　□　１２．その他（　　）							品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~12のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-

実施状況の評価　創意工夫

●評価対象項目

対象	該当	
■	□	1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査･解析等の手法･技術に関する提案がなされている。
■	□	2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。
■	□	3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。
■	□	4．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。
■	□	5．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述（　　）

●評価点

c
0

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 □　□　２．業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ■　□　３．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　４．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　５．打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　６．測量、調査等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　７．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 □　□　８．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　９．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　１０．車輌の運転･駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 □　□　１１．その他（　　）						説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~11のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．仕様書等にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 □　□　2．写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ■　□　3．調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ■　□　4．調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ■　□　5．多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。 □　□　6．成果物は、仕様書等に基づき適切にまとめられている。 □　□　7．その他（　　）								成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~7のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

用地関係業務	業務名：	○○

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>20</td><td>15</td><td>10</td><td>7.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>実施状況の評価</td><td>業務特性</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。
□　2．都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。
□　3．厳しい自然、条件への対応が評価できる。
□　4．業務の特殊性への対応が評価できる。
□　5．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。
□　6．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。
□　7．その他（　　）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="9">◎評定は１~7のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="10">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。
□　5．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="10">◎評定は１~5のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

概略・予備設計	業務名：	○○設計

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　）								業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ■　□　９．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１０．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１１．業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１２．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１３．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１４．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１５．休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 □　□　１６．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~16のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 ☑　□　１．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☑　□　２．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ■　□　３．基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ■　□　４．埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 ■　□　５．設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ■　□　６．設計計算書、設計図、数量の正確性、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 ■　□　７．受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト縮減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。 ■　□　８．現場条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ■　□　９．資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ■　□　１０．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、使用にあたって、事前に調査職員の承諾を得ている。 ■　□　１１．業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ■　□　１２．設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。 ■　□　１３．現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、調査職員の承諾を得て実施している。 ■　□　１４．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、調査職員の承諾を得て実施している。 □　□　１５．技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ■　□　１６．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ■　□　１７．構造等について、維持管理が容易となるよう詳細な検討がされている。 □　□　１８．構造及び維持管理の検討において、施設の長寿命化となる提案がされている。 □　□　１９．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ■　□　２０．当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ■　□　２１．当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 □　□　２２．仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 □　□　２３．その他（　　）							品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~23のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-

実施状況の評価　創意工夫

●評価対象項目

対象	該当	
■	□	1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査･解析･設計等の手法･技術に関する提案がなされている。
■	□	2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。
■	□	3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。
■	□	4．ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト縮減の提案がなされている。
■	□	5．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述（　　）

●評価点

c
0

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　2．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　3．打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　4．設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　5．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☑　□　6．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　7．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　8．その他（　　）							説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～８のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　☑　1．設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 ■　□　2．設計計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく整理されている。 ■　□　3．設計図面は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 ■　□　4．数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 ■　□　5．概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 ■　□　6．施工計画書は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記載されている。 ■　□　7．現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 ■　□　8．数量計算書は、「土木工事数量算出要領集計表（案）」に基づき、工種別、区間別に取りまとめられている。 ■　□　9．設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☑　□　１０．その他（　　）								成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~10のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

概略・予備設計	業務名：	○○設計									
考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
実施状況の評価	業務特性	●評価対象項目 対象　該当　Ⅰ設計条件への対応 □　1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。 □　2．設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。 □　3．設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 □　4．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。 □　5．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。 □　6．業務箇所数が多くそれぞれの地区特性に配慮していた。 Ⅱ高度な技術力への対応 □　1．設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。 □　2．委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 □　3．その他（　　）								
		◎評定はⅠ　1~6　Ⅱ　1~3のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c								

<table>
<tr><td rowspan="2">考察項目</td><td rowspan="2">細別</td><td rowspan="2">選択区分</td><td rowspan="2">評価区分</td><td rowspan="2">業務</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="9">◎評定は１~4のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

詳細設計	業務名：	○○設計

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　） ◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ■　□　９．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１０．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１１．業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１２．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１３．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１４．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１５．休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 □　□　１６．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~16のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）			

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ■　□　２．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ■　□　３．基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ■　□　４．埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 ■　□　５．設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ■　□　６．設計計算書、設計図、数量の正確性、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 ■　□　７．受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト縮減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。 ■　□　８．現場条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ■　□　９．資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ■　□　１０．業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に調査職員の承諾を得ている。 ■　□　１１．業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ■　□　１２．設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。 ■　□　１３．現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、調査職員の承諾を得て実施している。 ■　□　１４．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、調査職員の承諾を得て実施している。 □　□　１５．技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ■　□　１６．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ■　□　１７．構造等について、維持管理が容易となるよう詳細な検討がされている。 □　□　１８．構造及び維持管理の検討において、施設の長寿命化となる提案がされている。 □　□　１９．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ■　□　２０．当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ■　□　２１．当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 □　□　２２．仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 □　□　２３．その他（　　）								品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~23のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c			①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）						

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-

実施状況の評価　創意工夫

●評価対象項目

対象	該当	
■	□	1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査･解析･設計等の手法･技術に関する提案がなされている。
■	□	2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。
■	□	3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。
■	□	4．ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト縮減の提案がなされている。
■	□	5．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述（　　）

●評価点

c
0

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　2．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　3．打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　4．設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　5．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 □　□　6．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　7．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　8．その他（　　）							説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～８のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 ■　□　2．設計計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく整理されている。 ■　□　3．設計図面は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 ■　□　4．数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 ■　□　5．概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 ■　□　6．施工計画書は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記載されている。 ■　□　7．現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 ■　□　8．数量計算書は、「土木工事数量算出要領集計表（案）」に基づき、工種別、区間別に取りまとめられている。 ■　□　9．設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 □　□　１０．その他（　　）								成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~10のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

詳細設計	業務名：	○○設計									
考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

<table>
<tr><th rowspan="2">考察項目</th><th rowspan="2">細別</th><th rowspan="2">選択区分</th><th rowspan="2">評価区分</th><th rowspan="2">業務</th><th>a</th><th>a'</th><th>b</th><th>b'</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td>20</td><td>15</td><td>10</td><td>7.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施状況の評価</td><td rowspan="2">業務特性</td><td colspan="10">●評価対象項目
対象　該当　Ⅰ設計条件への対応
□　1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。
□　2．設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。
□　3．設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。
□　4．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。
□　5．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。
□　6．その他（　　）

Ⅱ高度な技術力への対応
□　1．設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。
□　2．委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。
□　3．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="10">◎評定はⅠ　1~6　Ⅱ　1~3のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">考察項目</td><td rowspan="2">細別</td><td rowspan="2">選択区分</td><td rowspan="2">評価区分</td><td rowspan="2">業務</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="9">◎評定は１~4のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>

業務委託検査チェックリスト（監督員）

一般監督員

各種調査業務	業務名：	○○調査

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務能力評価	業務体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．業務必要な基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 □　□　2．特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ■　□　3．管理技術者等は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ■　□　4．担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ■　□　5．担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ■　□　6．業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ■　□　7．業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 □　□　8．業務実施体制で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 □　□　9．その他（　　）								業務体制及び執行計画について、監督員が文章で改善指示を行った。	業務体制及び執行計画について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～９のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
業務状況の評価	執行管理	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　１．業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ■　□　２．契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ■　□　３．TECRISへの登録申請書を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ■　□　４．監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 □　□　５．監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ■　□　６．打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ■　□　７．打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ■　□　８．打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ■　□　９．業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ■　□　１０．業務の進捗を図るための工夫がなされている。 □　□　１１．業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 □　□　１２．第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 □　□　１３．屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 □　□　１４．屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 □　□　１５．休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 □　□　１６．その他（　　）						執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~16のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）			

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
業務状況の評価	品質管理	●評価対象項目 対象　該当 □　□　１．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 □　□　２．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 □　□　３．現地の状況に対応した調査方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ■　□　４．資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ■　□　５．業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に調査職員の承諾を得ている。 ■　□　６．業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 □　□　７．計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　８．業務の実施に当たり、現地踏査を行い業務実施に必要な現地の状況を把握している。 □　□　９．現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、 調査職員の承諾を得て実施している。 ■　□　１０．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 調査職員の承諾を得て実施している。 ■　□　１１．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 □　□　１２．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 □　□　１３．技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 □　□　１４．当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮され的確に提案されている。 □　□　１５．調査成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は調査職員の指示する業務の節目毎に、 適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　１６．事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われている。 □　□　１７．評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　１８．調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 □　□　１９．その他（　　）						品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~19のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）		

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	-	-
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査･解析等の手法･技術に関する提案がなされている。 ■　□　2．検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ■　□　3．品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ■　□　4．創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述（　　） ●評価点 c 0 ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、１点から４点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 （例えば、レ点が１つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）									

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評価	説明調整 能力	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ■　□　2．説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ■　□　3．打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 □　□　4．設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 □　□　5．発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 □　□　6．関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 □　□　7．発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 □　□　8．その他（　　）							説明調整について、監督員が文章で改善指示を行った。	説明調整について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１～８のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　％　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
結果の評価	成果品の品質	●評価対象項目 対象　該当 ■　□　1．設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 □　□　2．現地調査等の結果が、写真や図面等により的確にとりまとめられている。 ■　□　3．成果等の取りまとめにおいて、ミスがなかった。 ■　□　4．業務成果は、特記仕様書、各調査業務及び計画業務の共通仕様書の各章の該当条文に定めた内容で的確にとりまとめられている。 ■　□　5．業務報告書の作成にあたり、その検討・解析結果等を特記仕様書に定められた調査・計画項目に対応させ、その検討・解析等の過程と共に、的確にとりまとめられている。 ■　□　6．調査、検討、解析に使用した理論、公式の引用、文献などが漏れなく記載されている。 □　□　7．検討、解析の計算過程がわかりやすく整理されている。 ■　□　8．業務計画書で、成果品の品質を確保するための計画が記載され、漏れなく成果に反映されている。 □　□　9．その他（　　）							成果品について、監督員が文章で改善指示を行った。	成果品について、監督員の文章による改善指示に従わなかった。
		◎評定は１~9のうち 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・・a 評価値が７０％以上９０％未満・・・・・b 評価値が７０％未満・・・・・・・・・・・c					①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（　%　）＝該当項目数（　　）/評価対象項目数（　　）				

業務委託検査チェックリスト（監督員）

主任・総括監督員

各種調査業務	業務名：	○○調査									
考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-	-
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 対象　該当 □　1．管理技術者等は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □　2．管理技術者等は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □　3．業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 □　4．業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □　5．業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 □　6．その他（　　）									
		◎評定は１~6のうち 該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a 該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’ 該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b 該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’ 該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c									

考察項目	細別	選択区分	評価区分	業務	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-

実施状況の評価　業務特性

●評価対象項目

対象　該当

Ⅰ設計条件への対応

□ 1．現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。

□ 2．設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。

□ 3．設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。

□ 4．関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。

□ 5．地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。

□ 6．業務箇所数が多くそれぞれの地区特性に配慮していた。

Ⅱ高度な技術力への対応

□ 1．設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。

□ 2．委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。

□ 3．その他（　　）

◎評定はⅠ　1~6　Ⅱ　1~3のうち

該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a

該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’

該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b

該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’

該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c

<table>
<tr><td rowspan="2">考察項目</td><td rowspan="2">細別</td><td rowspan="2">選択区分</td><td rowspan="2">評価区分</td><td rowspan="2">業務</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td></tr>
<tr><td>10</td><td>7.5</td><td>5</td><td>2.5</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組姿勢</td><td rowspan="2">責任感・積極性・倫理観</td><td colspan="9">●評価対象項目
対象　　該当
□　1．業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
□　2．業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。
□　3．業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
□　4．その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="9">◎評定は１~4のうち
該当のレ点の数が４つ以上・・・・・・・・・・・a
該当のレ点の数が３つ以上・・・・・・・・・・・a’
該当のレ点の数が２つ以上・・・・・・・・・・・b
該当のレ点の数が１つ以上・・・・・・・・・・・b’
該当のレ点の数がなし・・・・・・・・・・・・・c</td></tr>
</table>